

部 門	階	室 名	室の使い方等	特記事項	室数	面積 (㎡/室)	天井高 (m) 以上	建築				電気							機械					
								床 下地	床 仕上	壁 仕上	天井 仕上	照度 LX	外線 電話	内線 電話	TV	電気 錠	時計	保安 コン	保安 照明	LAN	空調	給排水	給湯	洗面 器
共通事項			【一般共通事項】 ・下記欄内が空白部は、運営面より必要があれば設置も含め提案とする。 ・広がりや明るさを感じさせる空間とし、圧迫感のない、空間・色彩・照明計画とすること。 ・ホワイエやエントランスホールなど、裏方以外の空間は高品質な計画とすること。 ・適宜遮音、吸音を考慮すること。 ・内外問わず、窓には全てカーテンもしくはブラインドもしくはロールスクリーンを設けること。 ・記載のない床荷重については必要な床荷重を設定すること。 ・トイレは、パウダーコーナーの設置など最新の考え方を取り入れて計画すること。 ・トイレの通路、便房等においては、利用者が快適に利用できる、仕上げ、大きさとすること。 ・男子トイレの小便器隔て板の高さを天井まで設置すること。 ・会議や講演会の利用を前提とした残響時間とすること。 ・各控室前にA3サイズの表示を掲示できる機能を有すること。 ・監視カメラは、ホワイエ、廊下、EV前、2号館から接続された部分、外部からの出入り口、分割された各々の展示室等に設置すること。監視は1号館防災センターにて監視する。（カメラ21台以上） ・新施設の整備に伴い整備する渡り廊下は、下記合計面積12,900㎡の外数とする。 ・すべての建具の押棒及びレバーハンドルは抗菌仕様とすること。 ・面積（㎡/室）の数量を上回るとは任意とする。																					
	1・3	展示室	【想定利用用途】 ■ 1 階の展示室 （室内に柱を設置可） ・レセプション、バンケット会場 ・大規模会議等における展示 ・分科会会場 ・ポスターセッション会場 ・展示会，見本市，企業個展 ■ 3 階の展示室 （無柱空間とする） ・大規模会議のメイン会場 ・レセプション、バンケット会場 ・大規模会議等における展示 ・ポスターセッション会場 ・分科会会場 ・展示会，見本市，企業個展	・展示室は、固定席を設置するのではなく多様な利用が可能となる平土間形式とすること。（椅子配置で1750席以上） ・長方形かつ整形で、操作が可能な移動間仕切りにより、4分割利用も考慮した形状とし，多目的な利用に対応できる展示室とすること。（別紙22_5号館（仮称）ゾーニング図参照） ・施設の中心に配置し，他の諸室との連携に配慮すること。 ・1階展示室内への搬出入車両動線は，荷捌き場、および東側2か所から4 t ロングトラックが入る大きさの出入口として計画すること。 ・展示室内には外光の入射がないようにすること。 ・閉室時において外部から通線口（配管やケーブル等）を各搬入口付近に設けること。 ・分割した場合も備品倉庫などの諸室にアクセスできるように計画すること。 ・他室からの透過音は当室に聴こえないレベルまで、他室への透過音は電気拡声による大音量発生の場合に周辺で若干聴こえるレベルまで、それぞれ低減させること。分割した各部屋についても同様とする。 ・出入り口は遮音性（T-3以上）のあるものとする。 ・床は、国際会議などの大規模な会議、レセプションや展示イベント等に耐えうる仕上げとし、メンテナンスのしやすさにも留意すること。 ・分割した各部屋には、他の部屋を経由しないで廊下等から直接出入りできるようにすること。 ・分割した各部屋には、利用状況をモニターするための監視カメラを設置すること。 ・1Fは床荷重2 t /㎡以上とすること。 ・3Fは床荷重1 t /㎡以上とすること。 ・一般照明は高効率LEDダウンライトとし、0～100%の調光可能なシステム（各室4回路、合計20回路）とする。 LED1000形ダウンライト：電球色3000K、中角タイプ、Ra85、198台を設置、床面平均照度500LXを満足すること。 ・移動間仕切りは収納庫に収納すること。 ・区画した範囲毎に陽圧・陰圧の対応が可能な計画とすること。 ・移動間仕切りで区切られた際の各展示室には、それぞれ催事ごとに給水及び排水が出来るように、各展示室まわりに給水管のバルブ止め及び排水管のキャップ止めを設けること。	各階 1	2500 （展示室内部の面積であり付属室は含まない）	7.0 有効高さ	C	TC	提案	提案	700	－	○	○	○	－	○ 1/2 以上	○ 1/2 点灯	○	○	○	－	－
	1・3	調整室	展示室に面して設置	・展示室を2分割した場合に、各々の分割された部屋に面して設置すること。	各階 2	提案	提案	提案	提案	提案	提案	500 調光	－	○	○	－	○	－	－	○	○	－	－	－

諸室仕様リスト

部 門	階	室 名	室の使い方等	特記事項	室数	面積 (㎡/ 室)	天井高 (m) 以上	建築				電気							機械					
								床 下地	床 仕上	壁 仕上	天井 仕上	照度 LX	外線 電話	内線 電話	TV	電気 錠	時計	保安 コン	保安 照明	LAN	空調	給排水	給湯	洗面 器
貸室	1 ・ 3	ホワイエ	・来場者の客溜まり ・催事の際の受付 ・エントランスなど	・ホワイエは、展示室と一体的利用が可能な計画とする。 ・可能な限り広いスペースを確保すること。 ・全部若しくは一部吹抜けとし、明るく開放感のある高質な空間となるよう配慮すること。 ・主たる外部との出入口は風除室を設け、ステンレス製自動ドアとすること。 ・コーヒープレイク等ができる一定の広さを確保するとともに、休憩用の椅子等を設置すること。 ・登録受付やもぎり、クロークの設置等ができる機能も備えること。 ・入場時、退場時のスムーズな動線に配慮すること。 ・展示室との一体利用時に展示室内の音や案内音声を流すための設備を設置すること。 ・ホワイエのどのエリアでも利用できるよう、イベント電源盤と臨時電話、LANを適宜設けること。特に登録受付等が設置されると想定される位置には配慮すること。 ・床はメンテナンスのしやすさにも留意すること。 ・催事を表示するデジタルサイネージを合計4か所設置すること。設置場所は、詳細設計を行う際に市と協議を行うこと。表示部は65型タッチパネルディスプレイを表示できるものとする。管理サーバーは、1号館防災センターに設置すること。 （催事の看板等の設置を想定しているため、展示室側に設けること） ・LANジャックの位置は仮設受付などの利用を想定し、数パターン 想定のうえ、床・壁などに適宜設けること。 ・音響・照明・映像・同時通訳装置には別系統の電源を用意すること。 ・壁面展示が可能なように適宜ピクチャーレールを設置すること。 ・ホワイエには、エスカレーター上り下り、乗用エレベーター（20人乗り程度）2台以上設置すること。 ・3階は2号館と渡り廊下で接続すること。	提案	各階 600	提案	提案	提案	提案	提案	500	－	○	○	－	○	○ 1/2 以上	○ 1/2 点灯	○	○	提案	－	提案
	1 ・ 3	休憩コーナー	来場者用休憩スペース	・来場者数を考慮し、ホワイエ内にまとまったスペースを設けること。 ・自動販売機、パントリー、ダストボックススペースを計画すること。	提案	提案	提案	C	KT	提案	提案	300	－	－	－	－	－	－	－	○	提案	－	提案	
	1 ・ 3	ロッカー コーナー	来場者用	・ホワイエ内に設けること。	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	200	－	提案	提案	－	－	－	－	提案	提案	提案	提案	提案
	1 ・ 3	主催者控室	主催者用詰所	・ホワイエに近接した位置とし、室内から展示室内及びホワイエの状況が直接確認できる窓等を設けること。 （当該窓等にはカーテンやブラインド等の目隠しを設けること） ・館内音響設備（マイク、有線・CDの再生も対応可能とすること）を設けること。 ・臨時回線用の電話ジャックを設けること。 ・コピー機の設置スペースを確保すること。 ・部屋毎に陽圧・陰圧の調整が可能な計画とすること。	各階 1 以上	提案	提案	C	VT	EP	DR	500	○	○	○	○	○	○ 全数	○ 全数	○	○	○洗面 器	○洗面 器	○
	1 ・ 3	控室（大）	主催サポートメンバー （施工・運営会社等）用詰所	・来場者の動線と交錯しないよう配慮すること。 ・臨時回線用の電話ジャックを設けること。 ・主催者控室と離れた位置とすることも可能とする。 ・消防による待機が必要なイベント時の消防本部用の詰所としても利用できるようにすること。 ・部屋毎に陽圧・陰圧の調整が可能な計画とすること。	各階 1 以上	提案	提案	C	VT	EP	DR	500	－	○	○	○	○	○ 全数	○ 全数	○	○	提案	提案	提案

諸室仕様リスト

部 門	階	室 名	室の使い方等	特記事項	室数	面積 (㎡/ 室)	天井高 (m) 以上	建築				電気								機械				
								床 下地	床 仕上	壁 仕上	天井 仕上	照度 LX	外線 電話	内線 電話	TV	電気 錠	時計	保安 コン	保安 照明	LAN	空調	給排水	給湯	洗面 器
貸室	1 ・ 3	控室（小）	主催サポートメンバー (施工・運営会社等)用詰所	・来場者の動線と交錯しないよう配慮すること。 ・臨時回線用の電話ジャックを設けること。 ・主催者控室と離れた位置とすることも可能とする。 ・警察による警護が必要なイベント時の警護本部用の詰所としても利用できるようにすること。 ・消防による待機が必要なイベント時の消防本部用の詰所としても利用できるようにすること。 ・部屋毎に陽圧・陰圧の調整が可能な計画とすること。	各階 1 以上	提案	提案	C	VT	EP	DR	500	－	○	○	○	○	○ 全数	○ 全数	○	○	提案	提案	提案
	1 ・ 3	控室 (V I P)	V I P用詰所	・V I Pの利用に配慮した、格式の高い仕様とすること。 ・主催者控室に隣接した場所に設けること。 ・来場者の動線上には設けないこと。 ・室内にトイレ・シャワーを設けること。 ・トイレ内にはハンドドライヤーを設置すること。 ・クローゼットを設けること。 ・VIP 動線付近、かつ一般用動線以外の出入口から容易に屋外に出られる位置に配置すること。 ・部屋毎に陽圧・陰圧の調整が可能な計画とすること。	各階 1 以上	提案	提案	C	TC	CC	DR	500	－	○	○	○	○	○ 全数	○ 全数	○	○	○ トイレ シャ ワー 洗面 器	○ トイレ シャ ワー 洗面 器	○
	2	会議室 兼 控室	・会議及びセミナー会場 ・大規模会議等の分科会会場 ・展示会時の商談スペース など	・設置位置は、展示室からのみではなく、ホール側や、ホワイエからの動線を考慮すること。 ・床は、メンテナンスのしやすさにも留意すること。 ・残響時間は、会議や講演会の利用を前提とした設定とすること。 ・他室からの透過音は当室に聴こえないレベルまで、他室への透過音は電気拡声による大音量発生の場合に周辺で若干聴こえるレベルまで、それぞれ低減させること。 ・室内にマイクパッチ盤を設け、それに対応したスピーカーを天井に設けること。 ・来場者数を考慮し、部屋の出入口付近にまとまったスペースを確保すること。 ・照明は調光が可能なものとすること。 ・音響設備、映像用スクリーン（縦横比が16:9で天井高に合ったサイズ）を備えること。 ・音響ワゴンは壁への埋め込み式とすること。 ・天井スピーカーを設置すること。 ・赤外線方式のワイヤレスマイクが利用できるようにすること。 ・隣接会場間で映像・音声を容易に送受信できるようにすること。 ・吊看板用のピクチャーレールを設けること。 ・床面にもコンセントを設置すること。 ・音響・照明・映像には別系統の電源を用意すること。 ・移動間仕切りに関しては、運営上必要であれば設置すること。 ・部屋毎に陽圧・陰圧の調整が可能な計画とすること。	3 以上	提案	提案	C	TC	EP	DR	500	－	○	○	○	○	○ 全数	○ 全数	○	○	提案	提案	提案

諸室仕様リスト

部 門	階	室 名	室の使い方等	特記事項	室数	面積 (㎡/ 室)	天井高 (m) 以上	建築				電気							機械					
								床 下地	床 仕上	壁 仕上	天井 仕上	照度 LX	外線 電話	内線 電話	TV	電気 錠	時計	保安 コン	保安 照明	LAN	空調	給排水	給湯	洗面 器
共用 エリア	2	2階ロビー		・1号館、2号館と渡り廊下で接続すること。 ・会議室を3室以上配置すること。 ・どのエリアでも利用できるように、イベント電源盤と臨時電話、LANを適宜設けること。 ・壁面展示が可能なように適宜ピクチャーレールを設置すること。	1	500	提案	C	提案	提案	提案	500	－	○	○	－	○	－	－	○	○	提案	提案	提案
	1 ・ 3	1階3階来場者用 トイレ	来場者利用	・展示室、会議室の規模やM I C E開催時の利用形態を想定し、適切な場所に適切な数のトイレ、授乳室を設置すること。 ・来場者の動線に配慮すること。 ・ホワイエ・展示室からそれぞれ直接利用可能な位置に設けること。 （利用者の一斉利用を考慮し、2か所に分散することが望ましい） ・トイレ出入口付近には、音声・点字による案内表示板を設けること。 ・利用者数、観客数等を考慮した便器数・配置とすること。 ・トイレは、催事毎の利用者層によってトイレの男女比率を調整できるように、男性用と女性用の間仕切りを移動間仕切りとするなどの工夫をすること。 ・洗面器には、上半身が確認できる大きさ以上の化粧鏡を設けること。 ・床の仕上げは清掃しやすく、滑りにくいものとする。 ・壁の仕上げは清掃しやすいものとする。 ・手摺は抗菌樹脂付きのものとし、堅固に固定すること。 ・男女トイレ内には各1か所ずつベビーベッドを設けること。 ・子ども用便座も適宜設置する等、子どもの利用に配慮すること。 ・その他高齢者、子ども連れ及び障がい者に配慮した設備を設けること。 ・洗面器は自動水栓とし、電気温水器等により温水が使用可能とすること。 ・洋式便器は、掃除口付の連続使用可能なタンク式であって壁掛け型とし蓋ありの温水洗浄便座付とすること。 ・ライニングにタンク点検用の十分な大きさの点検口を設けること。 ・洗浄ボタンはセンサー式とする。温水洗浄便座のリモコンは壁付け自己発電タイプとし、擬音装置が内蔵されているものとする。 ・紙巻器は棚付き2連のものとする。 ・小便器は自動洗浄とすること。 ・女性トイレにはパウダーコーナーを設けること。 ・便座クリーナー用ディスペンサーを設けること。 ・ハンドドライヤーを設置すること。 ・ブース内にはバッグ等を置くための棚を設け、小便器間やブース扉にはフックを設けること。 ・アルコールディスペンサーを設置すること ・ベビーチェア、おむつ替えシートを適宜設置すること。	提案	提案	2.6	C	VS	提案	DR	200	－	－	－	－	－	○洗面器	○	－	－	○	○洗面器	－
	2	2階来場者用 トイレ	来場者利用 （主に会議室利用者）	・主に2階会議室利用者用として設け、利用者数を考慮した便器数・配置とすること。 ・洗面器は自動水栓とし、電気温水器等により温水が使用可能とすること。 ・洗面器には、上半身が確認できる大きさ以上の化粧鏡を設けること。 ・洋式便器は、掃除口付の連続使用可能なタンク式であって壁掛け型とし蓋ありの温水洗浄便座付とすること。 ・ライニングにタンク点検用の十分な大きさの点検口を設けること。 ・洗浄ボタンはセンサー式とする。温水洗浄便座のリモコンは壁付け自己発電タイプとし、擬音装置が内蔵されているものとする。 ・紙巻器は棚付き2連のものとする。 ・小便器は自動洗浄とすること。 ・洗面器には、上半身が確認できる大きさ以上の化粧鏡を設けること。 ・床の仕上げは清掃しやすく、滑りにくいものとする。 ・壁の仕上げは清掃しやすいものとする。 ・手摺は抗菌樹脂付きのものとし、堅固に固定すること。 ・女性トイレにはパウダーコーナーを設けること。 ・便座クリーナー用ディスペンサーを設けること。 ・ハンドドライヤーを設置すること。 ・ブース内にはバッグ等を置くための棚を設け、小便器間やブース扉にはフックを設けること。 ・その他高齢者、子ども連れ及び障がい者に配慮した設備を設けること。	提案	提案	2.6	C	VS	提案	DR	200	－	－	－	－	－	○洗面器	○	－	－	○	○洗面器	－

諸室仕様リスト

部 門	階	室 名	室の使い方等	特記事項	室数	面積 (㎡/ 室)	天井高 (m) 以上	建築				電気									機械			
								床 下地	床 仕上	壁 仕上	天井 仕上	照度 LX	外線 電話	内線 電話	TV	電気 錠	時計	保安 コン	保安 照明	LAN	空調	給排水	給湯	洗面 器
	1 ・ 2 ・ 3	多機能 トイレ	来場者利用	・ 利用者を考慮した位置に設けること。 ・ 洗面器は自動水栓とし、電気温水器等により温水が使用可能とすること。 ・ 洋式便器は蓋無しの温水洗浄便座付の壁掛けとすること。 ・ 温水洗浄便座のリモコンは壁付け型とし、温風乾燥機能が内蔵されているものとする。 ・ 紙巻器は2連のものとする。 ・ 洗面器・オストメイトには、上半身が確認できる大きさ以上の化粧鏡を設けること。 ・ 床の仕上は清掃しやすく、滑りにくいものとする。 ・ 壁の仕上は清掃しやすいものとする。 ・ 手摺は抗菌樹脂付きのものとし、堅固に固定すること。 ・ 音声情報案内装置（2か国語対応）を設けること。 ・ ベビーベッドを設けること。 ・ ハンドドライヤーを設置すること。 ・ その他高齢者、子ども連れ及び障がい者に配慮した設備を設けること。	—	提案	2.6	C	VS	提案	DR	200	—	—	—	—	—	○洗面器 オストメイト	○	—	—	○	○洗面器 オストメイト	—
貸室 エリア	1 ・ 3	主催者用 トイレ	主催者スタッフ及び サポートメンバー スタッフ利用 （施工・運営会社等）	・ 必要な便器数を確保すること。 ・ 洗面器は自動水栓とし、電気温水器等により温水が使用可能とすること。 ・ 洋式便器は、掃除口付の連続使用可能なタンク式であって壁掛け型とし蓋ありの温水洗浄便座付とすること。 ・ ライニングにタンク点検用の十分な大きさの点検口を設けること。 ・ 洗浄ボタンはセンサー式とする。温水洗浄便座のリモコンは壁付け自己発電タイプとし、擬音装置が内蔵されているものとする。 ・ 洗面器には、上半身が確認できる大きさ以上の化粧鏡を設けること。 ・ 紙巻器は棚付き2連のものとする。 ・ 便座クリーナー用ディスペンサーを設けること。 ・ 小便器は自動洗浄とすること。 ・ 床の仕上は清掃しやすく、滑りにくいものとする。 ・ 壁の仕上は清掃しやすいものとする。 ・ ハンドドライヤーを設置すること。 ・ ブース内にはバッグ等を置くための棚を設け、小便器間やブース扉にはフックを設けること。	提案	提案	2.6	C	VS	提案	DR	200	—	—	—	—	—	○洗面器	○	—	—	○	○洗面器	—
共用 エリア	1 ・ 3	バックヤード用 トイレ	スタッフ利用	・ 展示室の搬入側に配置すること。 ・ 洗面器は自動水栓とし、電気温水器等により温水が使用可能とすること。 ・ 洗面器には、上半身が確認できる大きさ以上の化粧鏡を設けること。 ・ 洋式便器は、掃除口付の連続使用可能なタンク式であって壁掛け型とし蓋ありの温水洗浄便座付とすること。 ・ ライニングにタンク点検用の十分な大きさの点検口を設けること。 ・ 洗浄ボタンはセンサー式とする。温水洗浄便座のリモコンは壁付け自己発電タイプとし、擬音装置が内蔵されているものとする。 ・ 紙巻器は棚付き2連のものとする。 ・ 小便器は自動洗浄とすること。 ・ 床の仕上は清掃しやすく、滑りにくいものとする。 ・ 壁の仕上は清掃しやすいものとする。 ・ ハンドドライヤーを設置すること。	提案	提案	2.6	C	VS	提案	DR	200	—	—	—	—	—	○洗面器	○	—	—	○	○洗面器	—
	1 ・ 3	授乳室		・ プライバシーが確保できるよう配慮すること。 ・ 調乳用シンク、ベビーベッド等の必要な設備を設けること。	1	提案	2.6	C	VS	提案	DR	200	—	—	—	—	—	○1/2	○1/2	—	○	○シンク	○シンク	—

諸室仕様リスト

部 門	階	室 名	室の使い方等	特記事項	室数	面積 (㎡/ 室)	天井高 (m) 以上	建築				電気									機械			
								床 下地	床 仕上	壁 仕上	天井 仕上	照度 LX	外線 電話	内線 電話	TV	電気 錠	時計	保安 コン	保安 照明	LAN	空調	給排水	給湯	洗面 器
	1	1階備品倉庫		・搬出入口付近に配置すること。 ・扉は引き戸とし、展示室から直接搬入可能とすること。 ・展示場を区画にして利用する際、それぞれの区画で同じようにバックスペースとして利用できるように計画すること。	4 以上	提案	5.0	C	VT	EP	GB-D	200	－	提案	提案	－	－	－	－	提案	提案	提案	提案	提案
	3	3階備品倉庫		・搬出入口付近に配置すること。 ・扉は引き戸とし、展示室から直接搬入可能とすること。 ・展示場を区画にして利用する際、それぞれの区画で同じようにバックスペースとして利用できるように計画すること。	4 以上	提案	5.0	提案	提案	提案	提案	200	－	提案	提案	－	－	－	－	提案	提案	提案	提案	提案
	1・3	自動販売機 コーナー		・各階1ヶ所（展示室内は不可）程度のスペースを確保すること。	2 以上	－	提案	提案	提案	提案	提案	300	－	提案	提案	－	－	－	－	提案	提案	提案	提案	提案
貸室 エリア	1・3	パントリー		・ケータリング基地として、バックヤード側に配置すること。 ・保冷器等を設置するのに必要な電源を確保すること。 ・グリストラップを有する排水設備を設置すること。 ・シンク、製氷機、冷蔵庫、調理機器用電源および配膳台を設置すること。	各階 1 以上	提案	提案	提案	提案	提案	提案	500	－	提案	提案	－	－	－	－	提案	○	○	○ シンク等	提案
その他	1	搬入ヤード または 搬出入口		・荷捌き場1か所設けること（出入口はW5000、H4500以上とすること） ・搬入口東面に2か所設けること。（出入口はW4000、H3000以上とすること） ・搬出入車両待機場所から荷捌き、展示室へ至るスムーズな動線に配慮すること。 ・備品倉庫に隣接した位置に設けること。 ・出入口とは別途に通線溝（ケーブル、配管等用）を設けること。 ・出隅部には、パイプガードやコーナーガードを設けること。 ・外部には庇を設けるなど、搬出入の際の雨避け等に配慮すること。 ・荷解き場には、3階の展示室まで大型人荷用エレベーターを設置すること。 ・荷解き場には、4t ロングのトラックが余裕をもって2台駐車できるスペースを確保すること。	提案	提案	5.0	C	防塵 塗料	提案	提案	300	－	○	提案	提案	－	－	－	提案	提案	提案	提案	提案
		その他諸室		・利用者が使用できる給湯室を控室に近接した場所に設けること。 ・更衣室や管理用倉庫等、必要と思われる諸室は適宜設けること。	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	－	提案	提案	－	－	－	－	提案	提案	○ 給湯 室	○ 給湯 室	提案
	4	機械室、電気 室、発電機室		・機器は、原則屋内設置とする。	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	－	○	提案	－	－	○	○	提案	提案	提案	提案	提案
<仕上げ凡例> ・床下地 C：コンクリートコテ押え、OA：OAフロアーH=100 ・床仕上げ TC：タイルカーペット（ナイロン）、VS：長尺塩ビシート、VT：ビニルタイル ・壁仕上げ EP：エマルジョンペイント、CG：布クロス ・天井仕上げ DR：岩綿吸音板、GD-B：化粧石膏ボード ・「保安コン」→保安用コンセント（非常用発電機回路）																								